（平成30年4月採用看護職員）

独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

患者さんの権利と意思を尊重します。
安全で優しいチーム医療を提供します。
倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
地域医療連携の促進を図ります。
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

第61号
2018.4
発行責任者　院長　朝妻　孝仁

手術部長ご挨拶

独立行政法人　国立病院機構　村山医療センター
手術部長・外科部長
大石　英人

この度、平成30年4月1日付けで手術部長を拝命いたしました。私は昭和62年に医師免許を取得して以来、一般外科医としての診療に従事しております。一般外科と呼ばれる分野は、虫垂炎や痔核およびヘルニアにはじまり、胃や大腸などの消化管における良性および悪性消化器疾患、乳腺、腹部救急までの幅広い範囲を担当する科であり、平たく言いますと頭と心臓と筋骨格系を除いてその他の部位を診る科という解釈にもなります。私は特に低侵襲性外科治療Minimally Invasive Surgery(MIS)をモットーに、日本内視鏡外科学会の技術認定指導医として、腹腔鏡を用いた内視鏡外科治療を村山医療センターに定着させ、外科の分野を発展させて行ければと考えております。

外科治療はチームプレーが基本ですが、特に腹腔鏡手術では一人だけの技術が卓越していても、その施設における医療レベルを向上させることは難しいのが現状です。村山医療センターに入職させていただいてから、同僚の飯野高之先生と共に、手術室のコメディカルも含めたチームビルディングセミナーをすでに2回開催いたしました。少しでも、村山医療センターの方々に腹腔鏡手術を知っていただき、また興味を持っていただいて、病院全体でのレベルアップを図り、村山医療センターにおける外科治療を発展させることによって、地域医療において少しでも貢献できればと考えております。

村山医療センターは整形外科の分野では、すでに国内屈指の病院ですが、この度当院で一般外科、特に腹腔鏡外科を立ち上げるに当たり、まず発生頻度の高い疾患に対する丁寧かつ確実な診療によって、地域医療に根ざすと共に、前述の様なMISやNST活動および各種施設認定の獲得や、若手医師の育成やコメディカルの方々の教育および個人資格獲得にも尽力し、チーム医療としての外科診療レベルの向上をはかりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新任医師の挨拶

整形外科医師　　松林　紘平（まつばやし　こうへい）

4月から勤務させていただいている松林紘平と申します。

出身地は神奈川県の藤沢市です。趣味と言えるものは学生時代にやっていた登山です。3 月までは慶応大学病院にてチーフレジデントとして働いておりました。

以前より村山医療センターで働くことを希望しており、念願が叶い勤務させていただくこととなりました。

少しでも皆様のお役にたてるように診療に取り組ませていただく所存です。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科医師　松田　恭平（まつだ　きょうへい）

4 月から村山医療センターに赴任いたしました、リハビリテーション科医師の松田恭平と申します。以前は杏林大学医学部付属病院で、急性期病棟や脳卒中センターのリハビリテーションに携わっておりました。回復期病棟や地域包括ケア病棟等の新たなフィールドで、今までの経験を活かしつつ皆様のお役に立てるよう努力して行く所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

新任医師の挨拶

リハビリテーション科医師　赤尾　佑衣（あかお　ゆい）

4 月からリハビリテーション科後期研修医 1 年目としてお世話になります赤尾佑衣と申します。3 月まで東京都健康長寿医療センターにて２年間初期研修医として働き、今年度から専門研修がスタートしました。

東京都練馬区の出身で、趣味は海外旅行です。今までに３５か国ほど旅をしてきました。

まだまだ医師としても未熟者で、皆様には多方面でご迷惑をおかけしてしまうこともあるかとは思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

麻酔科医師　児玉　麻依子（こだま　まいこ）

はじめまして、こんにちは。4 月から勤務しております、麻酔科の児玉と申します。3 月まで埼玉県狭山市にあります埼玉石心会病院にて勤務しておりました。熱烈なライオンズファンで、オフの時は暇さえあれば西武ドームに通っています。

手術を受ける方々が不安なく手術に望めるよう努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

子供の側弯症について

整形外科　許斐　恒彦

側弯症とは

脊柱側弯症とは背骨がさまざまな原因で弯曲してしまう病気で、脊柱が回旋を伴って10度以上側方に弯曲している状態をさします。側弯症には、先天的な側弯症もありますが、多くは原因が特定できない特発性の側弯症に分類されます。特発性側弯症は発症年齢によりわけられ、そのうち最も発症頻度が高いのが、10歳以降に発症・進行する思春期特発性側弯症で、全世界で人口の約2%にみられる疾患です。日本人でも約2%に見られ、学校保健法により側弯の学校検診が義務付けられています。

症状と経過

側弯それ自体が痛みや神経麻痺などの症状を呈することは通常ありません。しかし、他の先天的な病気や、側弯の進行による背骨の変性により、症状が出てくることがあります。

側弯症にはカーブが進行するものとしないものとがありますが、進行を予測することは難しく、年齢や弯曲の型などを参照に治療方針を決定します。一般的には年齢が若く、成長期や女子では初潮前に見つかった場合、進行しやすいと考えられています。側弯が重症化すると、肺の障害により呼吸がしづらくなってしまうため、多くの場合手術が必要となります。

診断

側弯症の正確な診断にはレントゲン検査が必要ですが、ご自宅でも簡単な方法で側弯症を疑うことができます（図1）。

立位検査（図1左）
後ろ向きにまっすぐ立った、気をつけの姿勢で行います。
①肩の高さに左右差があるかどうか。
②肩甲骨の高さと突出の程度に左右差があるかどうか。
③ウエストライン（腰の脇線）が左右非対称であるかどうか。

前屈検査（図1右）
両方の手のひらを合わせ、肩の力を抜いて両腕を自然に垂らし、膝を伸ばしたままでゆっくりおじぎをさせます。肋骨や腰に左右のいずれかにもりあがりがあり、左右の高さに差があるかどうか。

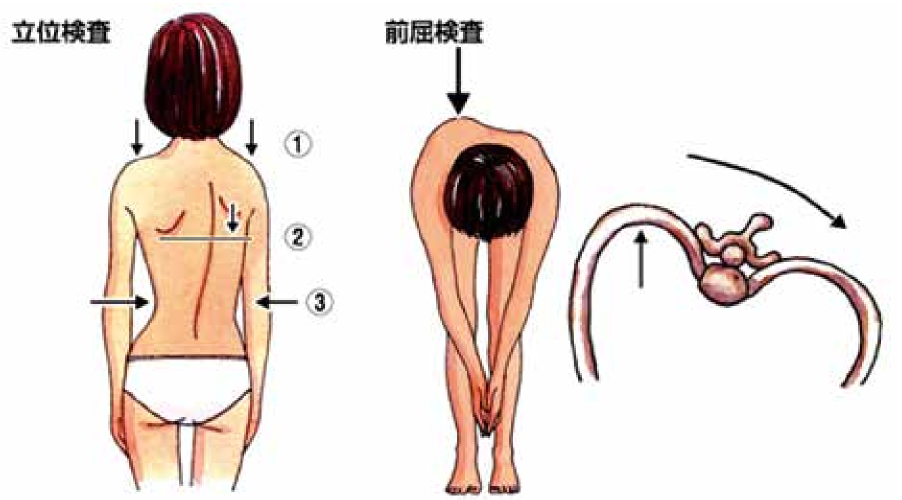


図1　側弯症の診察ポイント（日本側弯症学会編集、側弯のしおり『知っておきたい脊柱側弯症』より引用）

治療方法

治療は、側弯の角度と年齢、骨の成熟度により総合的に決められます。運動療法、マッサージや整体・カイロプラクティスには矯正効果はなく、その有効性は科学的に確認されていません。

①経過観察

軽度の側弯では、3～6ヵ月ごとにX線撮影と定期診察をおこないます。

②装具治療

軽度から中等度の側弯に対しては、側弯の進行防止のために装具を使った治療が行われます。装具療法の目的はあくまでも側弯の進行防止であり、まっすぐな正常な状態に戻すことではありません。手術に至らせないことが一番の目的です。一般的に成長期が終了したら装具を除去します。

③手術療法

側弯の進行が40～50度を超える場合や、装具治療が有効でなかった場合、手術が必要となります。手術では曲がった脊柱を矯正して、元に戻らないように固定する方法が行われます（図2）。

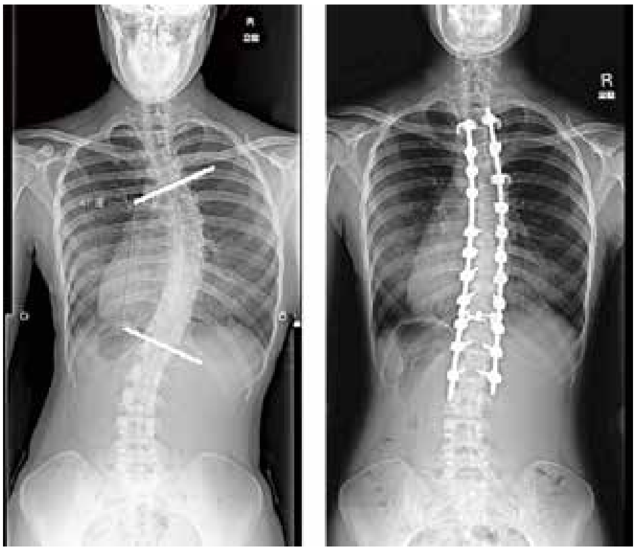


図2　側弯症の手術前後のX線写真（左：手術前、右：手術後）

手術による合併症には神経麻痺、感染症、呼吸器障害など、いろいろな合併症を生じる可能性がありますが、その頻度は決して高くありません。当院では神経麻痺を防ぐために、手術中に脊髄機能をモニタリングしながら安全に手術が行われるように対策をとっています。

また出血が多くなるため輸血が必要になりますが、手術前に患者さん自身の血液を貯めておき、手術中にも出血した血液を回収する自己血回収装置を用いて、できる限り患者さん自身の血液を輸血する方法をとっており、献血による血液製剤に頼らない工夫をしております。

手術方法により異なりますが、大半の方は手術後1週間以内に歩行ができるようになり、2～3週間で退院となり、その翌日から学校に通うことが可能です。

受診のタイミング

側弯症に対する診断および治療には専門的な知識や高度な技術、経験が必要となります。また、ご本人およびご家族の不安を取り除くために、継続的かつ充分なコミュニケーションが必要となります。

学校の検診で側弯症を指摘された場合、体幹の変形をご本人またはご家族が気付かれた場合、または体幹変形の治療でお困りの場合には、当院の側弯症外来にお越しください。

当院では小児および成人の側弯症をはじめ、様々な脊柱変形に対し多くの治療経験を持つ医師が診療を担当いたします。診察時間はお子さんが通学後に来院できるように、夕方や夏休みや春休みなどに、臨時の外来日を設けて診療に当たっております。詳しくは整形外科外来までお問い合わせください。

村山医療センター　リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科 理学療法士長
星　永剛

当センターリハビリテーション科のご紹介をさせていただきます。

当院は全国の国立病院機構145施設の中で「骨･運動器疾患基幹施設」、「神経･筋疾患（脊髄損傷）の基幹医療施設」として機能付与がされています。そのため当院の診療機能の中心の１つに整形外科とリハビリテーションがあり伝統と実績を持っています。

整形外科では、脊椎脊髄疾患に対する治療、人工関節をはじめとする関節外科治療などを積極的に行っています。また、2つの障害者病棟では多くの脊髄損傷の患者さんのリハビリテーションとケアを実施しています。

平成20年10月からは回復期リハビリテーション病棟40床を開設し脳血管障害をはじめとする回復期の患者さんを急性期病院から積極的に受け入れています。

これらのほとんどの患者さんがリハビリテーション科の対象であり、1日220名～240名の方に対してリハビリテーション科医師 6 名が障害に応じたきめ細かい処方のもと、理学療法士29名、作業療法士19名、言語聴覚士6名が治療に当たっています。

理学療法は、運動療法や物理療法により基本的な動作能力の回復や日常生活の自立を目指し、歩行練習や車いすの練習などを行っています。

作業療法は、身の回りの動作から手工芸作業まで種々の作業活動を通じて、身体機能、高次脳機能、日常生活活動、住宅改造などを含めた退院設定など広範囲に関わっています。言語聴覚療法は、コミュニケーションや食べることに障害を持つ方々の言語や聴覚、摂食・嚥下機能などを支援し、機能的な側面と同時に生活の質（QOL）を高めるように行っています。

このような診療を行っているリハビリテーション科でありますが、伝統あるリハビリテーション科の責任を担いつつ、当センターの理念である「患者様の視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。」を実現できるように頑張っていきますので今後ともよろしくお願いいたします。

看護の日のお知らせ

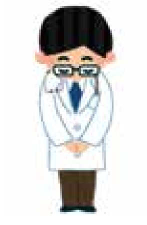
「看護の日」は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日に制定されました。また、この日を含む日曜日から月曜日を「看護週間」として毎年全国各地で看護に関するイベントが開催されています。

国立病院機構　村山医療センターでも多くの市民の皆様に病院を知っていただき、交流を深める機会になるように看護の日のイベントを平成30年5月19日（土曜日）にイオンモールむさし村山にて開催致します。「身体計測・骨密度チェック」「運動測定」は、ご自身の値を知ることで、生活習慣を見直すこともでき毎年好評です。当院は、骨・運動器疾患専門病院です。「骨粗鬆症は予防できないのか？」「腰部脊柱管狭窄症と言われているけど手術した方がいいのか？」等々疑問に思っていることを「医療相談」で解決してみてはいかがでしょうか。また「白衣試着コーナー」「AED 講習」「感染予防コーナー」「福祉相談」等ブースを設けており、病院職員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

セカンドオピニオンのお知らせ

当院では整形外科のセカンドオピニオン外来を行っております。
セカンドオピニオンとは、自分の病気の診断、治療内容について、
現在診療を受けている主治医以外の医師の意見を聞くことを言います。
主治医から示された治療方針に迷われていたり、他の治療方針はないか探している、といった患者さんが対象となります。また、セカンドオピニオン外来は一般外来とは異なり自費診療となります。

当院のセカンドオピニオン外来は、原則1時間の相談時間を設けております。患者さんには、主治医からの紹介状とレントゲンや MRI の画像データ、検査結果などを必ずお持ちいただき、それをもとにご相談・ご質問をお受けいたします。



セカンドオピニオン外来は**完全予約制**となっておりますので、
ご希望の患者さんはまずはお電話または窓口でご相談ください。
また、当院受診中の方で他医療機関のセカンドオピニオンを
希望される場合は、遠慮なく主治医にお申し出ください。

第10回院内臨床研究発表会を開催しました

臨床研究部長　吉原　愛雄

平成 30 年 3 月 22 日（木曜日）、毎年恒例の院内臨床研究発表会を開催致しました。本発表会は、平成 29 年度に行われた臨床研究の成果や診療に関する調査結果などを発表するものであります。年度末という業務多忙の時期でしたが、多数の演題を応募していただき、多くの部署からの参加者を迎えて盛大に開催することができました。

始めに、朝妻院長の開会の挨拶の後、最初の演者として臨床検査科の中野さんが「超音波機種によるＤＶＴ陽性率の比較」について講演しました。

次に、麻酔科（手術室）の伊藤さんが「脊椎脊髄手術の術中 Br-CMAP モニタリングにおける導出筋の検討」を、リハビリテーション科作業療法士の大貫さんが「脊髄損傷者におけるベッドギャッジアップ坐位での背抜き動作の現状把握について」を、同じく作業療法士の田澤さんが「肩手症候群と高次機能障害を呈していたが情動・認知に働きかけることでアロディニア様の痛みが改善しＡＤＬを獲得するに至った一症例」を、同じく理学療法士の碇さんが「脊髄損傷不全麻痺患者の歩行訓練にロボットスーツ HAL®福祉用を使用した経験」を講演しました。

次いで、看護部（手術室）の古田さんが「手術室看護師による術前外来導入に向けての現状調査」を、看護部（2 病棟）の関川さんが「深部静脈血栓症（DVT）の発生と随伴症状の関連を明らかにする」を、看護部（3 病棟）の吉原さんが「疑似体験が看護師に及ぼす影響―脊椎手術後のルート類、脊椎装具を用いた体動制限を体験して -」を講演しました。最後は外来診療部長の竹光先生から「副甲状腺ホルモン製剤投与患者における高尿酸血症の検討」の講演があり、谷戸副院長からの講評の後、会は無事終了致しました。

例年に劣らず、力の入った熱い発表や、ポイントを突いた厳しい質疑応答もあり、とても有意義な発表会になりました。本発表会は、発表内容の審査を行っており、上位の発表者には後日院長から表彰を受けました。

国立病院機構の業務には、「医療を提供すること」と記載されていますが、医療の提供のみならず「医療に関する調査および研究を行うこと」も業務として明文化されています。医療の本質の解明のために、日常診療で遭遇する疑問点をテーマとする臨床研究を今後も推奨して行きたいと思います。それらの結果は、直接的或いは間接的に診療にフィードバックされるものだからです。本会は院内の職種を超えた発表会であり、各部署における疑問点や創意工夫の状況、実際に努力していることなどを互いに知ることができるよい機会となりました。病院全体の医療レベルの向上につながる非常に有益な会であったと感じております。職員の皆さんは、来年も行う予定ですので、是非応募をお願い致します。

村山医療センターを支えるボランティアさん

今回 紹介する方は色鮮やかなお花で庭の手入れして下さる目崎さんご夫妻です。以前、病院内の売店を経営していたお二人とは長い付き合いです。奥様から話を伺いました。

「売店をやめるって時に病院から頼まれて、趣味を兼ねて始めたの。ちょっとのつもりが、もう何十年になるかなぁ〜。」「私はどうでも良いかと思うけど、お父さんが２〜３年先の（草木の）成長や色合いを考えているから作業が細かい！ でも、きれいねぇ〜って言われると嬉しくて。」と笑顔で話して下さいました。

昨年夏から足を悪くされた旦那様の武さんが自宅療養している間はおひとりでしたが、秋からまた、お二人で作業されています。それまで自転車に乗っていた武さん、最近は愛用車が変わりました。並んで歩かれる姿が微笑ましく、仲の良さを感じます。

「歳をとったから売店をやめたの。見てくれる人がいるから続けているけど、誰か代わりにやってくれないかしらねぇ。」とのことです。どなたかお手伝いくださる方がいらしたら、お願い致します。

ボランティアでお手伝いして下さる方は村山医療センター管理課までご連絡ください。

2017 年 12 月撮影

最近愛用の手押し車

病棟新築整備工事について

病棟新築工事については、「村山医療センターニュース第 59 号」（2017 年 10 月発行）にて地鎮祭を行った旨をお知らせいたしましたが、工事の進捗状況は、行政手続き等の関係で当初予定より工程が遅れております。現在は大型クレーンを設置し、基礎鉄骨作業を行っており、まだ建物の半分ですが、建物の骨格が分かるようになって参りました。

5 月末には上棟予定で、その後は、内装、外装、建具、外構等各種工事を経て、30 年度末には 6 階建 303 床の新病棟が完成する予定で進んでおります。
新病棟完成後の 31 年度には、既存病棟の解体工事を計画しております。

工事期間中は騒音や振動、工事車両の通行等で患者さんをはじめ、ご来院の皆様方や地域の皆様方に大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、工事の進捗状況の写真を病院の中央廊下に掲示しておりますので、ぜひご覧下さい。

外来診療担当医師

■一 般 外 来

※受付時間（初診：8時30分～ 11時まで / 再診：8時30分～ 12時まで）

平成30年4月1日現在

診療科等			月	火	水	木	金	備 考
内 科			片 寄	岡 田	片 寄	岡 田	岡 田	
外 科			大 石	飯 野	松 岡	飯 野	大 石	
整形外科	再診	脊椎	○朝 妻 ◎竹 光 佐々木	◎谷 戸 ◎藤 吉 加 藤(貴) 松 林	○◎金 子 山 根 笹 治	○◎許 斐 矢 内	小見山 松 川 辻	◎脊髄損傷 ○側弯 脊椎・脊髄 （頚椎・胸椎・腰椎）
整形外科	再診	関節	清 水		窪 田	吉 原	笹 﨑	股・膝関節・下肢
整形外科	再診	手		加 藤(直)				手指・上肢
整形外科	再診	一般						
整形外科	初診		交替制					
リハビリテーション科			富 岡	植 村	竹 内		交替制(※) (第4･5金は休診)	※第１金…竹内 第２金…植村 第３金…富岡
歯 科			宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	予約制

■専 門 外 来（全て予約のみ）

診療科等	月	火	水	木	金	備 考
内科リウマチ				片 寄 (13:00~)		予約制
側 弯			金 子 (13:30-15時)	金 子 (第2-4週13:30-16時)		予約制
装具外来 （リハビリ科）	植村/倉片/竹内 (13:00~)					予約制
禁煙外来		岡 田 (午前11:30~)		岡 田 (午前11:30~)	岡 田 (午前11:30~)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

診療について

診 療 日　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始は除く）
診療受付時間　初診の方　午前8時30分～午前11時00分
　　　　　　　再診の方　午前8時30分～午前12時00分

※急患は（整形外科）随時受付けております。
専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。
毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構　**村山医療センター**
〒208-0011　東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL　042-561-1221（代）　FAX　042-564-2210
URL：http://www.murayama-hosp.jp/

平成30年4月　発行
編集・発行　独立行政法人国立病院機構　村山医療センター
デザイン・印刷　有限会社　新星社